

令和3年第2回木津川市議会定例会（6月18日）

一般質問通告書

1 宮嶋 良造	
質問事項：市は休業支援金に代わるものを補償すべき	
質問要旨	<p>1 シルバー人材センターに夜間管理を委託している施設はどこですか。</p> <p>2 昨年来、緊急事態宣言が出され、休館や時間短縮した施設の夜間管理料はどのように扱われましたか。</p> <p>3 夜間管理をしていたシルバー人材センターの会員は、収入がなくなったり、減収しました。しかし、国の休業支援金・給付金は、シルバー人材センターと会員との間に雇用関係がないからと支払われませんでした。施設の管理者である木津川市は休業支援金に代わるものを補償すべきではないですか。</p>
質問事項：下水道使用料の値上げは止めよ	
質問要旨	<p>1 「木津川市水道料金及び公共下水道使用料審議会」で下水道使用料に関して答申案が審議されていますが、どのような内容ですか。</p> <p>2 市長は下水道使用料に関する答申が出されたら、どのように扱うのですか。</p> <p>3 答申は凍結し、下水道使用料の値上げはストップすべきです。市の考えは。</p>
質問事項：公園に複合遊具の設置を	
質問要旨	<p>1 子どもにとって遊びとは何ですか、その意義は何ですか。遊びの空間・場所を保障することは市の役目ではないですか。</p> <p>2 木津川市において子どもたちが遊ぶ公園等に、子どもたちが喜ぶような複合遊具が少ないのではないですか。そのために精華町の公園に遊びに行く親子連れが多くいます。ご存じでしょうか。</p> <p>3 市内の公園にも計画的に子どもたちが喜ぶ複合遊具を増やすべきではないですか。また、老朽化した遊具の代替遊具をどのように考えていますか。</p>

2 谷口 雄一	
質問事項：エッセンシャルワーカーに対するワクチン接種を迅速に	
質問要旨	<p>未だ新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない中、学校、幼稚園、保育所、また放課後児童クラブ等においては、3密を避けることが困難であり、日常生活に欠かせない職業、いわゆるエッセンシャルワーカーでありながら、現状では、感染と隣り合わせの緊迫した日々を過ごされている状況です。</p> <p>このような状況下で奮闘されている方々にとって、ワクチン接種は、自身の感染予防のみならず、クラスター発生の未然防止や、15歳以下への感染リスク軽減に大きく寄与するとともに、その保護者やご家族に対しても大きな安心感をもたらすものと考えます。</p> <p>そこで、一日も早く接種できるよう、優先枠を設ける等の柔軟な対応が必要であると考え、以下の通り質問いたします。</p> <p>(1) 基礎疾患のある方、60歳から64歳の方は7月14日に予約受付開始となっているが、先行して実施された65歳以上の高齢者の予約受付時の状況を踏まえて、改善につながる対策を講じるのか。また、16歳から59歳で基礎疾患のない方の予約受付開始日についての目途はどうか。</p> <p>関連して、当日キャンセル等による余剰ワクチンの取扱いについて、具体的な対策は。</p> <p>(2) 台風等による気象警報により、集団接種が中止となった場合の対応は。直近の集団接種日に再予約等で対応するのは、実際上困難ではないのか。</p> <p>(3) 国において、7月末までの高齢者接種終了を条件に、自治体独自の優先接種枠を設ける事を容認する方針について、本市では8月8日までの接種予約（受付終了）としているが、対象となるのか。</p> <p>また、エッセンシャルワーカーの方々への優先接種枠の設定等について、必要性の認識と実施に向けての検討状況と課題は。</p>

質問事項： 食品ロス削減に向けた具体的な行動を	
質問 要 旨	<p>近年、食品ロスの問題は国内のみならず、国際的に重要な課題となっており、その削減に向けて、社会全体で主体的に取り組む必要があると考えます。</p> <p>令和元年10月に食品ロス削減推進法が施行され、自治体においては「食品ロス削減推進計画」の策定が努力義務となりました。そこで、本市の取組みにつき、以下の通り質問いたします。</p> <p>(1) 食品ロス削減に関して、これまでの具体的な取組みは。</p> <p>(2) フードバンク活動への支援と、フードドライブの啓発、促進についての考えは。 また、基金を活用した市民提案型ごみ減量活動等補助金について、食品ロス削減に関連する事業として、フードバンクやフードドライブに関する活動も対象となるのか。</p> <p>(3) 「食品ロス削減推進計画」策定に向けての方針と、庁内の推進体制はどうか。</p>

3 河口 靖子	
質問事項： 死亡時に遺族の手続き一元化を	
質問 要 旨	<p>平成30年第4回定例会の一般質問で「死亡時の手続きを丸ごと支援できるご遺族支援コーナー」の質問を行いました。行政からは実施は難しく、「ワンストップで手続きが完了するよう配慮に努める」との答弁をいただき、がっかりしました。</p> <p>市は令和2年12月定例会で「書かない窓口」事業を行うために、一般会計補正予算に事業委託料2100万円を計上し、現在、事業は進行しているところだと思っております。現時点での事業進捗状況と、事務簡素化もはかれるよう、死亡時の遺族の手続きを一元化できる「おくやみコーナー」を設置できるよう努力すべきであると考え、以下の質問を行います。</p> <p>(1) 「書かない窓口」開始までのスケジュールは。</p> <p>(2) 文書読取り技術とはどのようなものか。</p> <p>(3) 事業の内容は。</p> <p>(4) 事業委託料2100万円の内訳と、その後の維持管理費用は。</p> <p>(5) 市民課窓口での転入手続き以外の事務内容は。</p> <p>(6) 死亡時における届出手続きの流れは。</p>
質問事項： 市民の生命と健康を守るために	
質問 要 旨	<p>新型コロナワクチン接種が5月23日からスタートし、まずは高齢の方々にとっては、一安心といたるところですが、6月20日まで緊急事態宣言が延長され、解除されたとしても安心できない状況にあります。</p> <p>そこで、次期対象者である「基礎疾患を有する者」「60～64歳の者」「成人一般」「16～19歳の者」の新型コロナワクチン接種の方法はどうなるのか気になるところです。今回の課題点を活かした改善が必要との考えから、以下の質問を行います。</p> <p>(1) 新型コロナワクチン接種のお知らせ方法に不備はなかったか。</p> <p>(2) 新型コロナワクチン接種の予診票の記載に関して、スムーズに記載されていたか。</p> <p>(3) 接種会場でのトラブルはあったのか。</p> <p>(4) 各会場の暑さ対策はどうするのか。</p> <p>(5) 予約できなかった高齢者は、7月中に接種できる見込みはあるのか。</p> <p>(6) 本市の高齢接種希望者の人数と割合は。また、接種済み者の人数と割合は。</p> <p>(7) 次期対象者の新型コロナワクチンの接種方法は。</p> <p>(8) 7月以降、個別接種が開始できるように準備すると聞いているが進捗状況は。</p> <p>(9) 近隣で京都府による大規模接種が行われているが、本市の希望者で大規模接種会場で接種された方の把握はできているのか。</p>

4 長岡 一夫	
質問事項： 災害情報の変更に伴う取組みについて	
質問要旨	<p>1 今年の出水期から避難の判断情報が変更となった。「避難勧告」が廃止され、「避難指示」に一本化された。また、気象庁は、集中豪雨をもたらす「線状降水帯」の情報発表を始める。災害情報の主な変更点や今後の取組みは。</p> <p>2 災害時における新型コロナウイルス感染防止への対応と取組みと、地域との連携は。</p> <p>3 これまでの防災行政無線の運用についての改善点は何か。また、改善を踏まえ、今後どのように進めていくのか。</p> <p>緊急メールも含め、考え方を示してください。</p>

5 伊藤 紀味枝	
質問事項： 木津小学校校舎改築工事の安全対策は	
質問要旨	<p>木津小学校校舎の老朽化に伴い、7月から改築工事が行われます。狭い敷地内での大規模な改築工事は危険が予測されます。そこで、次の点を質問します。</p> <p>(1) 児童の校舎内での安全対策は。</p> <p>(2) 児童の登下校中と近隣住民への安全対策は。特に、大型車両による運行計画は。また、近隣住民への説明は予定しているのか。</p> <p>(3) 工事中における教職員と工事車両の駐車場所は。</p> <p>(4) 工事中における児童クラブの送迎車の駐車場所は。</p> <p>(5) 第2児童クラブ・新給食の配膳室の場所は。</p>
質問事項： 市道木335号の歩道整備は	
質問要旨	<p>市道木335号の沿道には、市役所をはじめ商工会・簡易裁判所・保育所・小学校・図書館と市の重要な施設があります。</p> <p>(1) 商工会から公園都市緑化協会までには歩道もないところがあり、歩道があっても凸凹しており、シルバーカーの車輪が引っ掛かったり、歩道に電柱等があり一時的に車道に出られる方もおられます。木津小学校前はスクールゾーンで、「交通安全対策の重点地域」と言われる中、大変危険な道路である。何度も一日も早い歩道整備をお願いしましたが、そのままである。</p> <p>木津小学校校舎改築工事が始まると、工事車両等が多く出入りすることから、今後の歩道整備は。</p> <p>(2) 木津小学校西側水路の暗渠化計画は。</p> <p>木津小学校西側の道路は、横に水路があり、安全対策として簡易なポールにロープが取り付けられてあるだけで、近くには児童クラブがあり、多くの人々が利用している。車両の往来も多く危険である。市の考えは。</p>

令和3年第2回木津川市議会定例会（6月21日）

一般質問通告書

1 倉 克伊	
質問事項： 移住・定住促進を安定的に継続するために	
質問 要 旨	<p>日本の人口は、平成23年以降減少し続けています。 木津川市においても、人口減少になると、税の減収はもちろん、地域コミュニティの持続性が損なわれ、まちづくりにも影響が出るものと考えられます。 特に、旧集落の過疎化は著しく、空き家や耕作放棄地などが多く見受けられます。 市では、瓶原（みかのはら）地区を「移住促進特別地域」として京都府の制度を活用して、受け入れ体制や農業の担い手、また移住者への支援などを行い、地元の方などとも協力し、成功事例と評価しています。 そこで、以下のことをお聞きします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>（1） 市は、瓶原地域での移住促進をどのように評価しているのか。 また、全国的な事例として失敗する原因はどのようなものがあると認識しているのか。</li> <li>（2） 瓶原地域での成功事例を参考に、過疎化が進む地域にそれぞれの地域の実情に応じ、活動を普及してはどうか。</li> <li>（3） 他地域にも活動を広めるためには、どのような策が必要と考えるか。また、これまで、講じてきた策は。</li> <li>（4） 特に過疎地域は、調整地域にあり、移住者の方は農地を購入できない場合が多い。特区制度などの活用により、移住しやすい環境を構築すべきと考えるがどうか。</li> </ol>
質問事項： 神童子地区のメガソーラーについて	
質問 要 旨	<p>令和元年、山城町鳴子川上流の神童子上ノ滝地区における大規模な太陽光発電施設の建設計画に対し、当時の神童子・南平尾・北河原の3地区の区長名などで、住民の生命と財産を守る観点から計画の中止を求める請願が市議会に提出され、全会一致で採択しました。併せて、「市民の思い」「府民の生命と財産を守る」を第一に、京都府知事に対し慎重な審査を求める意見書を市議会として提出しました。 また、令和2年7月には、良好な生活環境の保全と、安全・安心の生活を確保することを目的に、無秩序な太陽光発電施設設置を抑制するための条例を全会一致で可決しました。 しかしながら、昨年から再び同地区に太陽光発電施設の建設計画の動きがあり、本年になり、地域内の住民や下流域の住民に不安が広がっています。 そこで、以下のことをお聞きします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>（1） 市は、神童子地区の新たなメガソーラーの計画を把握しているのか。また、地元や下流域住民の反対運動の把握は。</li> <li>（2） 市に対し、事業者からの相談や協議はあったのか。</li> <li>（3） 市は、「木津川市における太陽光発電設備の設置に関する条例」を制定している。今後、林地開発許可の手続きにおいて、許可権者である京都府から市に意見照会があると思うが、市は府にどのように回答するのか。</li> <li>（4） この再度の計画に対し、市の基本的な考えは。</li> </ol>

2 西山 幸千子	
質問事項： ジェンダー平等の社会を目指して	
質問 要 旨	<p>昨年から続いているコロナ禍のもとで、弱い立場の人たちがより一層暮らしづらくなっている現状が見えてきました。第2次木津川市男女共同参画計画「キラリさわやかプラン」では、「男女がともに輝くまちづくり」を基本理念としています。そこで、誰もが安心して自分らしく生活できる木津川市を求めます。</p>

質問要旨	<p>(1) 市として「ジェンダー平等」についてどう考えていますか。具体的な取組みはありますか。</p> <p>(2) 以前、平成29年9月議会で、パートナーシップ条例の導入を提案しました。あれから社会全体の意識も大きく進んで、5月末で105自治体がパートナーシップ制度を導入しています。条例制定について市の考えは。</p> <p>(3) 女子大生の勇気ある行動から、全国的に「生理の貧困」が注目されました。女性センターに相談に来る人たちへ生理用品を配布できませんか。          児童・生徒が悩みなく学校で過ごせるように、市内の小中学校のトイレに返却不要の生理用品を常備する予定はありませんか。          災害備蓄品に生理用品はありますか。更新はしていますか。更新時期に合わせて無償配布を考えてははどうですか。</p>
質問事項： 待機児童の解消にむけて	
質問要旨	<p>今年度は公立保育所民営化等実施計画での統廃合の検証期間とされています。待機児童対策を含め市民の願いに沿った保育になっていますか。</p> <p>(1) 相楽台保育園の現状はどうですか。</p> <p>(2) 南加茂台保育園へ通っている児童の地域ごとの割合は。</p> <p>(3) 市全体での待機児童は減っていますか。</p> <p>(4) コロナ禍のもとで、公立保育所の役割が大きくなっています。計画の見直しが必要ではないですか。</p>

3 酒井 弘一	
質問事項： 太陽光発電設備に関する条例の価値	
質問要旨	<p>昨年7月、本市は太陽光発電設備に関する条例を制定しました。その後、今年の1月以降、山城町神童子区においてメガソーラー事業者の動きが続いてきました。これに関し市の見解を聞きます。</p> <p>(1) この事業者による京都府への事業申請は行われましたか。また、申請が行われた際には、すぐさま京都府から木津川市へ連絡がなされるよう連携していますか。</p> <p>(2) 市はこの事業者に対してどのように対応してきましたか。</p> <p>(3) 太陽光発電設備に関する条例では、抑制地域を市長が定め、その地域での事業について市は同意しないという内容になっていると認識します。間違いないですか。</p>
質問事項： コロナワクチンの接種	
質問要旨	<p>コロナワクチン接種の予約は5月10日から行われ、すでに接種も始まっています。この予約に関しては、混乱があり、様々な市民の不満、批判、意見が市にも届いていると思います。伺います。</p> <p>(1) 予約の際のさまざまな混乱の実態とその原因は何だと考えていますか。</p> <p>(2) 5月の臨時会を受けて、市のホームページには市長名でお詫びの一文が掲載されました。しかし、市広報6月号のトップ記事はコロナワクチンでしたが、そこには一切お詫びの文はありません。また、予約できていない高齢者でも希望者には必ず接種するから安心を、との文がありませんでした。なぜですか。</p> <p>(3) 今回の教訓を次回以降の接種予約と接種にどう活かしますか。具体的に聞きます。</p> <p>① インターネット予約ができない方を含め、希望する高齢者全員への接種をどう保証しますか。</p> <p>② 外へ出られない方や交通の便に困っている方をどうしますか。</p> <p>③ 高齢者施設の関係者、医療従事者への接種は。</p> <p>④ 学校や幼稚園の教職員、保育士、市職員への接種は。</p>

4 炭本 範子	
質問事項： 市民の命を守るために	
質問 要 旨	<p>改正災害対策基本法が4月28日に成立しました（5月20日施行）。個別の避難計画の作成が市町村の努力義務となりました。また、大雨洪水の警戒レベル、レベル4の避難指示と避難勧告が避難指示に統一されました。住民に早期避難を促すためです。コロナ禍でもある中で、市としての状況や改正によってすべきことは何か、お伺いします。</p> <p>(1) 自主防災組織の設立状況と研修や連携、活動について。  (2) 防災士資格取得の状況は。  (3) 避難行動タイムライン作成の進捗状況は。  (4) コロナ禍での避難の方法と新型コロナウイルス感染症を踏まえた対策は。  (5) 車中泊避難についての考え方は。</p>
質問事項： 個人番号カードの普及促進に向けて	
質問 要 旨	<p>個人番号カードの普及は進みつつありますが、普及率は全国平均では30%前後、近畿の上位自治体でも約45%ぐらいです。今回、一般会計補正予算4号には、人件費等が増額されています。市としてはどう普及促進させるのか、お伺いします。</p> <p>(1) 市の現在の普及率は。今年度の目標率は。また、目標人数と世帯数は。  (2) 普及しない理由をどう考えるか。良い方策は持ち合わせているか。  (3) 市が応募した総務省の自治体版マイナポイントモデル事業が採択されました。ごみ減量等の取り組みですが、マイナンバーカードの普及に効果はあるか。  (4) 地域振興を図るためにも、地域通貨のポイントの付与を考えてはどうか。</p>

5 柴田 はすみ	
質問事項： 女性の貧困対策は	
質問 要 旨	<p>女性の貧困は、社会問題となっており、とりわけ母子家庭や単身高齢女性の貧困が、深刻と言われている。</p> <p>4月28日に内閣府が公表した「コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会」の報告書によると、コロナの影響が女性に強く表れていることを、エビデンス（根拠）をもって明らかにするとともに、ジェンダー平等・男女共同参画の取り組みが著しく遅れていたことを如実に示している。この報告書を踏まえ、コロナ下の女性への支援をより一層強化していくとともに、男女共同参画・女性活躍の取り組みを、強力かつ確実に推進していくことが求められている。市としても、この問題への取り組みが必要であると考え、次の点について質問する。</p> <p>(1) DV相談など、女性センターで相談を受けていると思うが状況は。  (2) シングルマザーへの追加支援を、市独自で行う考えは。  (3) 女性の視点を活かした災害備蓄品の選定や、適正管理はできているか。  (4) コロナ下で様々な困難を抱える女性に対する支援が必要と思うが考えは。</p>

令和3年第2回木津川市議会定例会（6月22日）

一般質問通告書

1 玉川 実二

質問事項： まちの未来設計と行財政改革の状況について

質問  
要  
旨

2020年12月25日にスーパーシティ候補地の公募が開始され、2021年4月16日にその締切りを迎え、今年5月以降に政令閣議決定（区域指定）される予定であると承知しております。京都府のスーパーシティのコンセプトは、人生100年時代にふさわしく健康で充実したスマートライフの確立や、AI時代の先端的な学習に関する研究開発の推進、及びその知見を活用することによる次代を担う子どもたちの個性や能力に応じた学びの場の提供、VR（仮想現実）を使いバーチャル空間に研究所を創るという学研都市を有する京都ならではの発想とのご評価を頂いているようです。

現在、京都府では京都府・本市・京田辺市・精華町合同でスーパーシティ構想に挑戦していますが、そのプロジェクトの現状と今後の展望についてお尋ねいたします。

次にSDGs未来都市へのチャレンジについてお尋ねいたします。

SDGs未来都市とは、SDGsの理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として選定されるもので、2018年からの3年間で93都市が選定されています。

京都府内では昨年度までに選定された舞鶴市、亀岡市に続き、今年度は京都市と京丹後市が選定されましたが本市におけるSDGs未来都市へのチャレンジについてのお考えをお聞かせください。

最後に、令和2年度行財政改革の評価（外部評価を含む）と課題、そして今後の計画について、主要プロジェクトに絞りご説明をお願い致します。

質問事項： 持続可能な授業と学びの改革について

質問  
要  
旨

現下のコロナ禍において、国内の幼稚園、小学校、中学校、高等学校等での新型コロナウイルスの集団感染が発生し、また、感染力の強い変異株の拡大により屋外飲食のような3密ではない状態でもクラスターが発生している事案なども確認されており、感染症対策を一層徹底しなければならない状況であります。

このような状況下において、デジタル化等による持続可能な教育は「感染症対策と子供たちの健やかな学びの保障の両立」の観点から決して特別なものではなく、日常的に行われてしかるべきものであると考えます。

現在、国が示すイニシアティブ（主導）として、GIGAスクール構想が進行中ではありますが、そのフロントランナーは、言うまでもなく学校現場であり、地方が主体性を持ち教育改革を推進していかなければなりません。

また、グローバル人材の育成については、ダイバシティ（多様性）やジェンダーギャップ（男女格差）の課題を改善し、世界における日本のプレゼンス（存在感）の向上を図るために、旧態依然のやり方ではなく、もっと身近に、もっとシンプルに、そしてもっと日常的に継続可能なグローバル教育を推進すべきであると考えます。

そして、議論を開始された「木津川市立小学校及び中学校の在り方検討委員会」の成果物は、正にGIGAスクール構想やグローバル教育等のロードマップ上にあり、かつ将来を見据えた子どもたちにとって必要な教育や学校そのものの形態にも言及される内容であると期待しております。

以上のことを踏まえ、3点ご質問させていただきます。

- (1) リモート授業の現状と課題、及び今後の展望（本市の全小中学校についてご答弁ください。）
- (2) 継続可能な国際交流活動（グローバル教育）についての本市の考えについてご答弁ください。
- (3) 「木津川市立小学校及び中学校の在り方検討委員会」での重点を置く改革領域を5つご教示ください。

2 山本 しのぶ	
質問事項： 魅力ある川を目指して	
質問要旨	<p>京都府の水辺環境事業として、平成5年に、山松川と鹿川の合流地点に「ふれあい広場」が設置されました。春には川沿いに咲き誇る桜並木を、秋には堤防のコスモス回廊を楽しみに人々が訪れます。しかし、山松川と鹿川の川底には砂が堆積し、護岸には草木が生い茂っています。川底が全く見えない場所やゴミもあります。景観が悪いばかりか、大雨が降れば流れを阻害し、被害を引き起こす可能性もあります。そこで、以下のとおり質問いたします。</p> <p>(1) 山松川と鹿川の浚渫並びに立木の伐採について、これまでの府の実施経過と今後の見通しを伺います。</p> <p>(2) 川を美しく保つための住民団体等による清掃活動や調査研究活動等を支援する府と市の事業内容、並びにその取組み状況について伺います。</p>
質問事項： 消防庁舎の用地選定過程を明らかにせよ	
質問要旨	<p>消防庁舎の移転について、市民の質問書に対する市の回答に、移転先として6箇所を選定検討したとありました。それら6箇所の場所、並びに「城山台九丁目1番地」を消防庁舎用地として決定するまでの過程と根拠、また、平成30年6月11日第4回政策会議での提案内容について説明を求めます。なお、私は、6箇所を検討したことについて、一度も説明を受けたことがなく、その会議録も存在しません。この理由についても明らかにすることを求めます。</p>
質問事項： 条例を守って抑制を	
質問要旨	<p>木津川市では、令和2年7月に、無秩序な太陽光発電設備の設置の抑制を図り、良好な生活環境を保全し、及び安全かつ安心な生活を確保することを目的とした条例「木津川市における太陽光発電設備に関する条例」を制定しました。</p> <p>ところが、抑制区域内でメガソーラーの設置を進めようとする事業者が来ていると不安の声が地域住民から届きました。抑制区域内において大規模太陽光発電設備事業を実施する目的で、事業者が市長に届出書を提出した場合は、市長はどのような対応をされますか。市長にお伺いいたします。</p>
質問事項： 希望者が保育園を利用できるように	
質問要旨	<p>女性の就業率の増加と保育無償化により、保育ニーズが高まっています。令和3年度は、「公立保育所民営化等実施計画」の検証期間であり、保育ニーズの状況を的確に判断し、計画見直しの検討を進める期間です。希望する全ての子どもが保育園を利用できるように、市として責任を果たすことが課題であると考えます。</p> <p>そこで、現状を的確に判断し、万全な対策を取られることを期待して、以下の通り質問いたします。</p> <p>(1) 昨年度、今年度の保育園の申込数、受入れ状況は。</p> <p>(2) 昨年4月・10月時点と、今年4月時点の(国基準並びに自己都合による)待機児童数、年齢別数は。</p> <p>(3) 機能変更や廃止が予定されている相楽保育園、相楽台保育園、南加茂台保育園の使用率の現状は。また、その使用率をどのように分析し、今後の計画変更に反映させるのか。</p>



3 兎本 尚之	
質問事項： 新型コロナウイルスワクチンに係る予防接種実施計画の状況は	
質問要旨	<p>はじめに、ワクチン接種にあたり、ご尽力いただいている方々に感謝申し上げます。ありがとうございます。</p> <p>3月定例会では、1日経てば答弁内容が変わるほど日々情報が変わり、ワクチン供給量が不明確で情報が錯綜していた時期でありました。そのような中、令和3年4月13日の全員協議会において、新型コロナウイルスワクチンに係る予防接種実施計画が示されました。計画は、国の通知、ワクチンの供給状況、関係機関との協議等により、変更される場合があります、時間の延長など良い方向へと改善されてきていると感じています。</p> <p>そこで、質問をします。</p> <p>(1) 現在の予防接種実施計画はどのようになっていますか。</p> <p>(2) 接種の情報に関して、国・府などとの連携、接種の情報共有はどのようになっていますか。</p> <p>(3) 国ではワクチン量を確保できたとの情報もありますが、本市へのワクチン配分状況と今後の見通しは。</p>
質問事項： 保育園と幼稚園の状況は	
質問要旨	<p>1 保育の定員数は24施設で約2600人で、約2400人を超えるニーズがあるとのことですが、定員数を超えていない中で、特定の園を希望されているという理由での潜在的待機児童がいます。</p> <p>(1) 新規申込者数と4月1日時点での潜在的待機児童数の状況と傾向は。</p> <p>(2) 保育利用の対象を市全域としています。全域を対象としなかった場合の弊害は。</p> <p>2 公立保育所は公立保育所民営化等実施計画に基づいて、民営化や統廃合が進められています。公立幼稚園については、具体的な計画はなく、教育振興基本計画で示されている状況であり、一定の転換期にあります。以前の議会での答弁がありましたが、その後、公立幼稚園の在り方や方向性を示す具体的プランはどのようになっていますか。</p>

4 森本 茂	
質問事項： コロナから市民の生命を守るには、ワクチン接種の加速と接種者の規模拡大が重要では	
質問要旨	<p>新型コロナワクチン接種については、相楽医師会をはじめ、看護師などの皆様の献身的なご協力に深く敬意を表すものです。また、この業務に関連する市の職員の方々は朝早くから夜遅くまで休日もワクチン接種が円滑に進むよう頑張っておられると聞いております。厚く感謝申し上げます。</p> <p>市民の皆様におかれましても、このことを含んで御理解とご協力をお願い申し上げます。その上で、本市においても、連日のように新型コロナ感染者が確認されており、5月26日時点では、累計299人となりました。5月10日に集団接種の予約を開始して、1日半で14,400人の「予約が終了した」と発表がありましたが、①ワクチン接種のお知らせの案内には、キャンセル予約の説明はありませんでした。市民の方々にキャンセル待ちの予約受付があることが事前に周知されていたか。お伺いいたします。</p> <p>②また、5月23日までにキャンセル予約された方は何人おられましたか。お伺いいたします。</p> <p>③そして、知り合いの方でキャンセル予約が早い段階でされたのに、8月8日の午後4時30分からの接種で、私はキャンセル予約が遅くに受付できたのにもかかわらず、再度枠が午後5時から5時30分ができたことにより、5月23日の午後5時からワクチン接種ができました。早くにキャンセル予約した人が結果、後回しになるのは不公平ではないのですか。どう対処されますか。お伺いいたします。</p> <p>④現在、高齢者が何人で、その内特別養護老人ホームで接種された方が何人で、それ以外のワクチン接種（5月23日から8月8日の枠内で）は何人が接種や受付が完了しているのですか。お伺いいたします。</p> <p>⑤高齢者の約4,000人の方が、接種の予約もされてないし、キャンセル予約もされてないと思われていますが、再度、このことを含めた案内を早急に出す必要があると考えます。お答えください。</p>

<p>質 問 要 旨</p>	<p>⑥そして、また再郵送後、何の予約もされなかった方々には、地域の民生委員さんとか、老人会や地域長さんと連携して、ワクチン接種をすすめて、1人でも多くの方が接種されるようにすることが重要であると考えますが、チーム長の副市長に見解をお伺いいたします。</p> <p>⑦また、高齢者の方は、集団接種より、かかりつけ医の個別接種を希望する方が多いと思われる。個別接種について何件のクリニックが手を上げていただけていますか、お伺いいたします。</p> <p>⑧そして、京都府が大規模接種会場として、けいはんなプラザで6月15日から、モデルナ製のワクチン接種をはじめると報道があったが、詳しいスケジュールと予約の方法、そして、送迎の手配は考えているのか。お伺いいたします。</p> <p>⑨コロナ禍で妊娠控えがいられている中、本市においては、妊婦特別給付金を令和2年度に引き続き、妊娠一人あたり10万円の給付金の補正案に私も賛同するとともにこの給付基準についてお伺いいたします。</p> <p>⑩16歳から64歳の接種券の発送とワクチン接種の予定はいつ頃になるのですか。インド変異株の感染力は、イギリス株の1.5倍、従来型の2.0倍といわれています。インド変異株やインド株とイギリス株の合体株の脅威に打ち勝つには、ワクチン接種のスピード化と12歳から15歳の若い世代にも接種を拡大することが重要と考えるが、市長の見解をお伺いいたします。</p>
<p>質問事項：市の組織と京都保健衛生協会の浄化槽の定期検査について</p>	
<p>質 問 要 旨</p>	<p>市長は、令和2年4月1日より水道事業管理者を置かれました。百歩譲ったとしても、木津川市組織参考図を見ても、公営企業である上水道部門のみの水道事業管理者となっております。下水道部門は、地方自治法の規定のため、市長が管理者となっております。吐師にある水道事業所の看板は木津川市上下水道部と書かれており、ここに、下水道部門の職員もいることから水道事業管理者に上水道・下水道両部門の管理者として責務を負ってもらふべきと考えるが、市長の見解をお伺いいたします。</p> <p>市役所の組織図に各課や係の仕事の内容を簡潔に記載して、年度初めにでも、市の広報に、挟み込んでと考えるが、見解をお伺いいたします。</p> <p>また、人事異動について、一部の新聞には課長級以上については、載りますが、他紙にはほとんど、載っていません。やはり、人事異動についても、市民の知る権利ではないでしょうか。市の広報にも課長以上は記載すべきと考えますが、見解をお伺いいたします。</p> <p>また、令和3年4月1日よりマチオモイ部理事（CIO補佐官）が、就任されました。奈良県でも3年間CIO補佐官をされておられたと聞いておりますが、市長はCIO補佐官に、3年間でどのような期待を持って採用されたのか。また、CIO補佐官には、市民サービスや行政事務のスマート化について、どのように考えられておられるのかお伺いします。</p> <p>また、令和3年度から本格導入されたビジネスチャットをどのように市政に活かせるのか、お伺いします。</p> <p>次に、下水道に関連して、本市において、調整区域には下水道は整備されないこととなっており、合併浄化槽や簡易浄化槽を設置されております。この浄化槽の保守点検と清掃は、近隣の衛生業者に委託しておられます。しかし、毎年1回法定検査（定期検査）が浄化槽法で定められており、京都府知事から指定された検査機関である公益社団法人京都保健衛生協会によって、水質等に関する検査と、浄化槽が適正に管理され本来の機能を発揮しているかどうかを確認するために来訪されます。手数料は5,000円（20人槽以下）です。これを依頼をしなかった方からお聞きしました。ものすごく威圧的な文章で至急に依頼するように催促文が送られて来たといわれていました。この京都保健衛生協会の検査依頼は100%達成されているのですか。お伺いいたします。</p> <p>また、10人槽以下の料金欄が無いのも大ざっぱすぎると思うが、見解をお伺いいたします。</p> <p>そして、公共用水域等の水質の保全等の観点というのであれば、100%の検査が必要なので、各個人宅から、料金を徴収するのではなく、府がその分の予算を付けて無料で検査するのが公平・公正であると考え、見解をお伺いいたします。</p>

質問事項： 「相楽木綿」が府の無形民俗文化財の指定となったことにより相楽地域に常設展示場を	
質問 要 旨	<p>「相楽木綿」が令和2年2月6日に京都府の無形民俗文化財に指定されました。</p> <p>相楽木綿は、明治初期から昭和初期に、木津川市相楽を中心に行われた木綿を緋（かすり）文様で織る技術。色糸を取り入れた華やかな文様を特徴とするものです。</p> <p>「相楽木綿」を伝承されているのが「相楽木綿の会」です。府立けいはんな公園内の相楽木綿伝承館で活動されています。相楽でお披露目式典と常設展示場を開設してはとありますが、市長の見解をお伺いします。</p>

令和3年第2回木津川市議会定例会（6月23日）

一般質問通告書

1 高味 孝之	
質問事項： ウィズコロナ時代を見据えた各部局の短・中・長期の対策を問う	
質問要旨	<p>新型コロナが日本国内にも深刻な影響を及ぼすようになって1年余りが経ちます。行政は、これからコロナ禍によって変化する社会とどう向き合うのか。各地方自治体の手腕の見せどころです。</p> <p>コロナ禍は、特定の部署において新たな業務を発生させたり、仕事量の違いを生じさせましたが、公共団体として住民サービスを低下させることなくピンチをチャンスにして、今まで以上に住民サービスを向上させるための次の各部局の短・中・長期の取組みを聞かせてください。</p> <p>(1) 財政運営の考え方は（税込・基金等）。</p> <p>(2) 市のまちづくりの重点施策は。</p> <p>(3) 教育行政の考え方は（教育環境の整備）。</p> <p>(4) 福祉施策の考え方は（介護、障害者福祉等）。</p>

2 大角 久典	
質問事項： 奨学金返還支援制度について問う	
質問要旨	<p>日本学生支援機構によると、返済が必要な貸与型奨学金の利用者は約129万人で、学生の2.7人に1人が利用しており、大学の学部生1人あたりの平均貸与額は、無利子の第1種が241万円、有利子の第2種は343万円に上ります。</p> <p>また、卒業後の返還額は、平均すると1人あたり年間約20万円となっており、返還者数の約7%が延滞するなど、日々の生活に、奨学金の返還が重くのしかかっている人は少なくありません。</p> <p>そのような中、全国各地で、若者の奨学金返還を支援する取組みが広がりを見せており、内閣官房の調べでは、2020年6月現在で32府県423市町村において実施され、以降も実施自治体は増加しており、京都府内においても、京都府及び4市において、実施又は今年度から実施予定となっています。</p> <p>この制度は、奨学金を返還する若者への経済支援にとどまらず、多くの効果が期待できます。少子化社会における教育負担の軽減による子育て環境の充実、人口減少が課題となっている市にとっては、市の未来を担う人材の育成・確保など定住促進につながります。また、制度実施方法によっては、人手不足に悩む中小・小規模事業者の人材確保・人材定着につながり、特に人材が不足する農業、医療、介護、保育等の業界においては、取組み効果が大きいといえます。そこで何点かお聞きします。</p> <p>(1) 全国で広がる奨学金返還支援事業についての所見を問う 国の特別交付税措置が拡大されているなど、全国的に奨学金返還を支援する取組みが増えている。市はこの制度を、認識されていますか。</p> <p>(2) 奨学金返還支援事業実施についての考えを問う 奨学金返還支援事業は、若者の経済的な負担を軽減するとともに、定住促進、子育て環境の充実につながるなど多くの効果が期待できます。本市における事業実施の考えをお聞かせください。</p>

質問事項： デジタル支援について問う	
質問要旨	<p>65歳以上の高齢者のワクチン接種が5月23日から集団接種会場で実施されています。医療従事者の皆さま、市の職員の皆さまには休日返上しての対応に感謝申し上げます。</p> <p>さて、今回の対象の方々でとりわけスマホやパソコンなどのデジタル機器をお持ちでない方にとっては電話でしか予約の方法がなく、その上、電話が繋がらないといった声を多くお聞きしました。その方たちの特徴は、スマホの使い方がわからないので持たない、テレビなどで情報を知るからいらぬという理由でした。</p> <p>木津川市は、昨年2月に「スマート化宣言」をし、他市よりも早くデジタル化へ舵をとりました。そこで次の点についてお聞きします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 国では昨年度から、デジタル活用支援事業の実証実験を実施していますが、本市のデジタル活用支援事業の取組みの方向性は。</li> <li>(2) 民間企業では、スマホやパソコン相談室が取り組まれているが、市民へのデジタル化推進を目的として、市が自治会等に対しスマホ教室等を実施したり、高齢者への普及のため社会福祉協議会に委託してスマホ教室を行うなど取り組む考えは。</li> <li>(3) 本市としてのデジタル化普及活動の考えは。</li> </ol>
質問事項： 今後のワクチン接種の取組みは	
質問要旨	<p>国は、7月末までに65歳以上の高齢者に対して2回目の接種を終わらせるとして、東京・大阪に大規模接種会場を開設するほか、都道府県でも都市部を中心に大規模接種会場が開設されています。京都府でも、亀岡のサンガスタジアムと精華町のけいはんなプラザの2会場での大規模接種が15日から始まっています。</p> <p>また、新聞報道によると21日から大学や民間企業等でも、接種が可能であるとお聞きしますが、本市のワクチン接種を今後どのように進めていくのかを具体的にお聞かせください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 本市としては、8月8日で2回目の接種が完了するスケジュールになっています。前倒しの考えは。また、民間企業等での接種について市内の企業の状況は。</li> <li>(2) 基礎疾患の方や高齢者施設従事者の方、60歳～64歳の方、20歳～59歳の方、16歳～19歳の方と段階的にワクチン接種が進んでいくと思われそうですが、段階的に年齢別や地域別での実施方法も考えられますが、市の考えは。これまでと同じような予約の受付をするのですか。</li> <li>(3) 本市のワクチン接種は、集団接種から個別接種への移行は考えているのですか。和歌山県が全国で連日トップの接種率との報道をされています。医療機関が多い特色を活かされていることで接種が進んでいると聞いています。本市としても工夫して早く接種できる体制を望むがその考えは。</li> </ol>